

J R 綾瀬駅以東から西日暮里駅乗換時にかかる運賃加算の
是正及び常磐線各駅停車の過疎ダイヤ解消を求める要望書

東日本旅客鉄道株式会社

(株) 東支社

代表取締役社長 清 野 智 様

1971年、当時の国鉄は、常磐線の混雑解消を目的とした複々線化を実現させました。しかし、京浜東北線や中央線とは異なり、各駅停車については、北千住駅から地下鉄千代田線に乗り入れる方式を採用し、綾瀬駅・北千住駅間は国鉄の運賃制度を残したまま、当時の営団地下鉄の運営路線としました。これにより、北千住駅での各駅停車から快速線への乗換は、地下二階から地上へと不便なものになっただけでなく、綾瀬駅以東からの利用者が西日暮里駅での乗換時に生じる地下鉄線初乗り運賃加算についても、各駅停車利用者にとり大きな料金負担となっています。このことは、計画当時から問題とされていましたが、現在まで改善されておられません。

さらに、快速線の運行本数は、複々線化以降かなり増発されましたが、各駅停車のダイヤは1971年当時とほとんど変わっていません。平日は朝・夕のラッシュ時を除き一時間に5本、土曜・休日に至っては東京近郊の幹線では例のない過疎ダイヤの状況であり、足立区民を含む利用者から改善を望む声が多数寄せられ、足立区議会としても大変憂慮しているところです。

よって、貴社におかれましては、下記事項の実施にご尽力いただきますようお願いいたします。

記

- 1 綾瀬駅以東から地下鉄西日暮里駅乗換時の運賃加算を是正すること。
- 2 各駅停車の過疎ダイヤの解消に向けた抜本的な対策を講じること。

平成20年12月24日

足立区議会議長 くじらい 光

